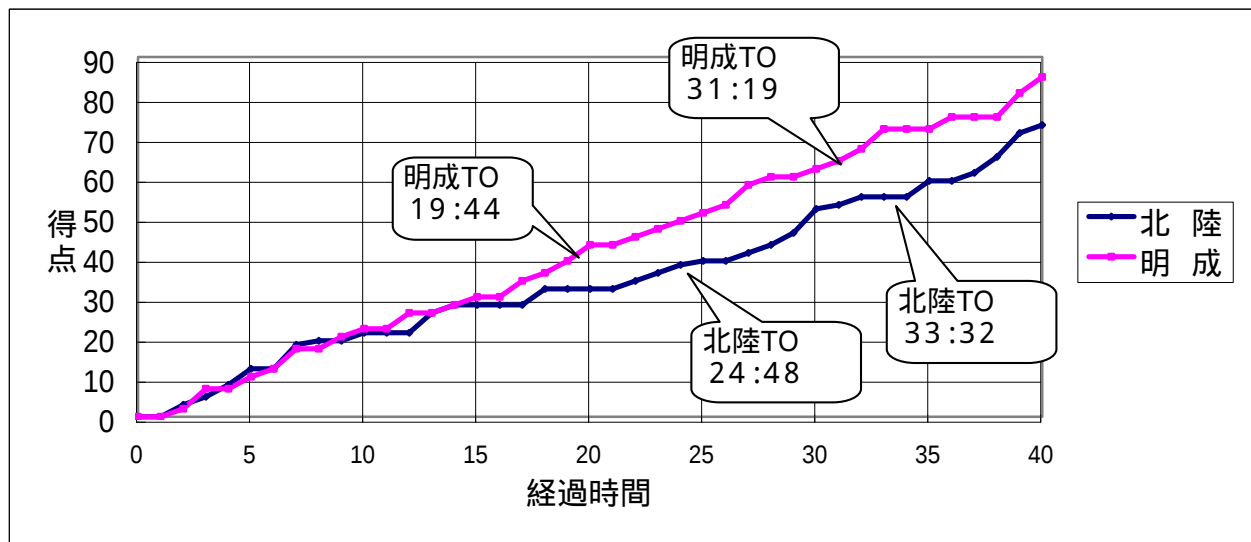


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	A4	15:00	男子 2回戦	
期日	2007年（平成19年）7月30日（月）	北 陸 73 85 明 成 福井 ● 21 - 22 ○ 宮城 20 - 19 21 - 23 -			
会場	唐津市文化体育館				



北 陸

No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
4	佐藤 雄太郎	13	3	2	0	2
○ 5	松本 陽準	9	1	3	0	1
6	廣島 駿	5	0	2	1	4
○ 7	湯浅 裕太	0	0	0	0	0
8	佐々木 陽	0	0	0	0	0
9	張方	24	0	10	4	1
10	曹 宇辰	2	0	1	0	1
11	川瀬 秀太	5	1	1	0	1
○ 12	占部 賢人	5	0	1	3	3
○ 13	志村 征俊	8	0	3	2	1
14	鈴木 康貴	2	0	1	0	1
15	見谷 英臣	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	津田 洋道					
	合計	73	5	24	10	

明 成

No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F
4	安藤 雄志	2	0	1	0	0
5	畠山 俊樹	0	0	0	0	0
6	伊藤 駿	9	0	2	5	2
7	小野 大貴	2	0	0	2	0
8	名塚 裕貴	12	2	3	0	2
9	佐藤 文哉	4	0	2	0	0
○ 10	佐藤 卓哉	20	0	10	0	3
○ 11	佐藤 琢	5	1	1	0	4
12	新妻 一輝	0	0	0	0	0
○ 13	石川 海斗	23	4	5	1	1
○ 14	中川 真雄	8	0	4	0	4
15	宮澤 耀佑	0	0	0	0	0
16						
17						
18						
コーチ	佐藤 久夫					
	合計	85	7	28	8	

○はスターター（はキャプテン） 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評

昨年の優勝校北陸と1回戦を圧倒的な強さで突破した明成との注目のカードは、#13石川を中心に個々の役割を十分に果たした明成が73対85で勝利した。第1P、硬さの見える立ち上がり。北陸#4佐藤の3Pが決まると両チーム持ち味を発揮。明成は、#13石川の3P、#14中川のみドルシュートで攻める。一方、北陸はセンター陣が相手ファウルを誘い、フリースローで確実に得点する。両者譲らず21対22で第1Pを終える。第2P、リバウンドで優位に立つ明成。#13石川が切れのあるドリブルで持ち込み、#10佐藤（卓）が得点を重ねる。北陸も#5松本の3Pで攻めるが、強引なシュートが多く、得点が伸びない。相手ミスを逃さなかった明成が、11点リードで前半終了。第3P、北陸は選手をこまめに入れ替え、反撃を試みる。#5松本、#9張の長身者がドライブインで得点。しかし、ディフェンスの裏をつくプレイや速攻等、やはり、#13石川に翻弄される。52対62で差は縮まらない。第4P、後がない北陸。大声援を受け、リバウンドやルーズボールに必死に食いつくが、最後のシュートが決まらない。北陸の激しいディフェンスに対してガード陣が安定した力を発揮した明成が、終止リードを保ち熱戦をものにした。

記者 福田哲也 (所属) 佐賀県バスケットボール協会